

日本風力エネルギー学会 研究会 企画書

作成：大澤 輝夫
所属：神戸大学大学院海事科学研究科
2025 年 4 月 22 日

研究会名称	風況調査技術研究会	
研究の目的, 期待される成果	風力開発において事業性評価や安全性評価のために行われる風況調査は、開発フローの初期段階に位置する重要な工程のひとつである。本研究会では、リモートセンシング（鉛直ライダー、スキャニングライダー、フローティングライダー等）による風況観測技術や、気流解析や風況マップ作成のための風況シミュレーション技術等の風況調査技術を研究対象とし、海外・国内における研究開発の動向をレビューすることで、最新技術を把握することを目的とする。また、風力業界が共通して抱える問題点を整理することで、取り組むべき課題や今後の研究開発の方向性を検討する。本研究会の活動を通して、風況調査の高度化・迅速化が期待できる。	
体制		
主査/副主査	会員氏名	所属
主査	大澤 輝夫	国立大学法人 神戸大学
副主査	林 宏典	一般財団法人 日本気象協会
	嶋田 進	国立研究開発法人 産業技術総合研究所
研究会の運営	会議は基本的にオンラインで行い、年 6 回程度の開催とする。研究会メンバーは公募で募るが、積極的に実働に参加できる方に限定してメンバーを募りたい。研究会の具体的な活動内容および進め方は研究会発足後、メンバー間で協議して決定する。1 年後には中間報告会を行い、2 年後には学会誌特集号に研究会の成果をとりまとめ、報告する。	
予定・予算（原則発足から 2 年）		
年月	内容	費目・予算
2025 年 5 月	メンバー公募	
2025 年 6 月	研究会発足	
2026 年 5 月	中間報告会	会議費・15 万円
2027 年 5 月	最終報告会	会議費・15 万円
2027 年 5 月	学会誌特集号投稿	